

県内初！みやざきサルサミット開催！！

鳥獣被害防止対策モデル集落意見交換会

全国でもほとんど例がない「モデル集落代表者同士での鳥獣被害対策サミット」が、8月2～3日に県内で初めて開催されます。

宮崎県では、鳥獣被害防止対策を推進するため、県内各地で鳥獣被害防止対策モデル集落が設置されています。今回、都城市高城町有水の田辺集落において、鳥獣被害防止対策を先進的に推進しているモデル集落の代表者等が参集し、事例発表や意見交換を行います。

常に最前線で対策を進める集落の方々が中心となって意見を交換することで、鳥獣被害の歯止めとなる新たなきっかけが見つかるかもしれません。

1 経緯・目的

近年、野生鳥獣（サル・シカ・イノシシ等）による農作物等への被害が全国的に広がりを見せるなど、大きな社会問題となっています。本県においても農作物等の被害地域は拡大を続けており、農林家の生産意欲の減退や作付の断念などの影響を含め、中山間地域を中心に深刻な問題となっています。

このため、県及び各市町村において副知事をチーム長とする「宮崎県鳥獣被害対策特命チーム」を編成し、様々な鳥獣被害対策を推進してきました。

その中で、県内各市町村の集落においては、モデル集落を設置し、実証を含めた鳥獣被害対策を実施しています。

今回、このモデル集落代表者等が集まり、活動内容の発表、取組みに関する意見交換等を行うことで、参集された方々のスキルアップ、今後の対策への活用や意識向上等を図ることを目的に、「みやざきサルサミット」（仮称）を開催します。

2 「みやざきサルサミット」概要

日時 8月2日（金）13：30～17：00
3日（土）9：00～11：00

場所 高城生涯学習センター

内容 ①基調講演及び問題提起
島根県美郷町 安田兼子 氏

②県内各モデル集落事例報告

③現地視察及び意見交換

④サミット宣言

※対策対象鳥獣は、サル・シカ・イノシシ等。
県内のモデル集落のうち6つの集落で60～100名程度参集予定。

主催 都城市鳥獣被害防止対策協議会
高城地区第14自治公民館（田辺集落）

共催 北諸県地域鳥獣被害対策特命チーム、都城市、宮崎県林業技術センター

